

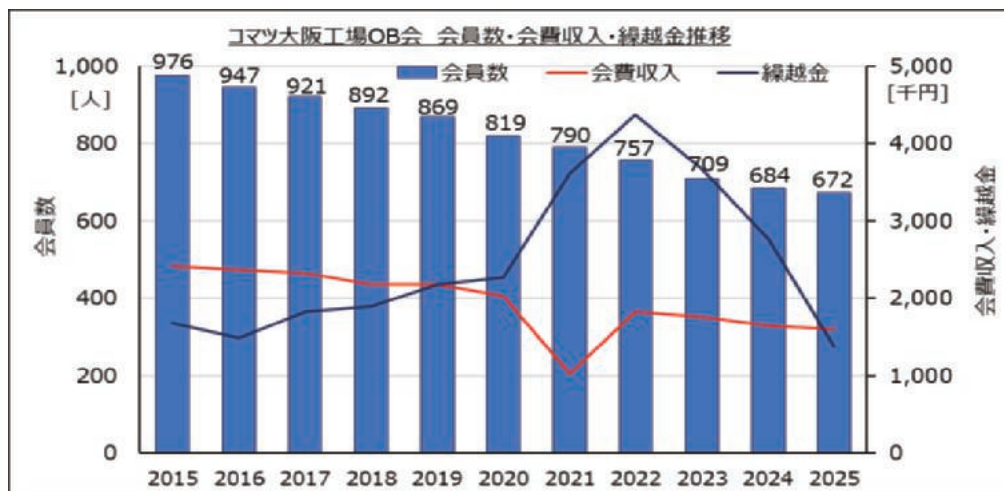
コマツ大阪工場OB会運営費の改善について

(第47回定期総会(10/10開催)議案案件)

昨年の定期総会で会員からのご指摘にもありましたように、OB会運営費の「繰越金の漸減」について対策を講ずる必要があります。「繰越金の漸減」は、ここ数年の会員数減少による会費収入の縮小と近年の物価上昇やOB会諸活動によるサービス向上対応等々による支出の増加が要因と考えられます。2020年からコロナ感染対応として自粛していたOB会諸活動の活性化を促すうえにおいて運営費の適切な運用が急務です。

役員会では、新入会員勧誘活動を推進する一方、活動費用の適正化を目的に運営費の改善案を捻出してきました。永続的なOB会運営を実現すべく、以下に運営費改善案を提案します。なお、実行できる案件から随時実施していきます。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1.コマツ大阪工場OB会運営費の現状



OB会の会員数は、定年退職者の減少に伴い、10年間で30%以上減少しています。会費収入も同様に減少しています。収入減により繰越金も目減りしており、2025年度は会費収入を下回る見込みです。

会員数700名を下回った現在、会員の皆様に提供している「ゆうゆう会便り」に関する費用すら会費収入ではまかなえない状況になっています。

2020年度から2022年度はコロナ禍の活動自粛により一時的に繰越金が増えていますが、コマツグループのイントラネット使用差し止めに伴う「PCの購入」と「OB会館ネット環境の整備」、さらには会員の皆様への情報提供のスピードアップと情報量を増やすことを目的とした「ホームページ(HP)の運用開始」への費用拠出等に活用することで時代の変化に対応してきました。

2.具体的運営費改善案

OB会の諸活動について運営費改善案を提案します。これまでの活動実績にとらわれることなく、運営費用の最適化を目指した改善案を提案いたします。

No.	項目	現状	運営費改善案	実施時期・備考
1	定期総会費	・毎年1回開催 ・総会、懇親会を別会場で開催 ・アルコール提供	・総会、懇親会を同一会場で開催する。 ・会食を軽食に変更、アルコール提供を中止⇒茶話会への移行	・懇親会会費徴収しない。 ・次回定期総会より実施 ・道路交通法改定対応